

一般社団法人輝水会
平成29年度第5回通常理事会議事録

| | |
|------|---|
| 日 時 | 平成30年1月17日（水） 午後16時00分～ |
| 場 所 | 東京都豊島区西池袋 1-12-1 池袋エソラ（Esola）4F 本と珈琲 梟書茶房 |
| 理事総数 | 4名 |
| 監事総数 | 1名 |
| 出席理事 | 4名 手塚 由美、三嶋 完治、木畑 実麻、小川 彰 |
| 出席監事 | 1名 阿部 英雄 |

定款第29条の規定により、理事長手塚由美が議長席につき、過半数以上に当たる理事の出席を得ているので、本理事会は適法に成立した旨を告げ議事に入った。

記

【決議事項】

第1号議案 小川理事修士論文と当法人活動のすみ分けの件

議長より、本件について、別添え付属資料を示しながら説明に入った。小川理事の修士論文と当法人活動のすみ分けについて、小川理事より説明があり、以下の内容を議場に諮ったところ、全員意義なくこれを承認可決した。また、小川理事より今後更に簡易で調査しやすいSF-8 調査への切り替えも検討したいとの意見があった。

(小川理事修士論文としての研究課題 - 10週間後の変化)

- ・「セルフエフィカシー」が教室前後で変化するか
- ・「セルフエフィカシー」と「日常役割行動」の関連
分析のため、サンプルサイズ30人以上確保が望ましい

(当法人活動)

- ・医療との連携強化（在宅医療、回復期リハ病棟等）
- ・介護予防を含め考えた社会に訴えるアウトカム指標
- ・長期的な費用対効果及び介護認定率等プロセス指標

以上をもって、国民活動（住民運営の通いの場の充実プログラム等）の根拠とする。

【協議事項】

1. 平成30年度事業計画・予算書素案の件

議長より本件について別添え付属資料を示しながら説明に入った。平成30年度予算書素案について、阿部監事より、「リハ・スポーツ教室」における経費等、行政には捻出する能力があるので、忌憚なくその額を請求することが望ましいとの助言があった。

また、議長より、HPリニューアルを行う際の経費として現在のHP管理料（毎月5000円）にHPリニューアル費10万円の予算増を行うことも検討したいとの意見があった。

平成30年度事業計画について、小川理事より、リハビリテーション・スポーツの普及・啓発事業における、「リハ・スポーツ教室」を開催する上でのマニュアルを早急に作成する必要があると平成29年度2月中の完成を目指したいとの意見があった。

【追加の協議事項】

2. 東京ホームタウン大学登壇における資料の件

議長より本件について別添え付録資料を示しながら説明に入った。小川理事より、成果物（医療関係者に向けたリハ・スポーツ説明パンフ）を作成した経緯とともに、より効果的な登壇内容とするためにパワポの見せ方を構成し直した方が良いとの意見があった。また、木畑理事より、映像・写真の見せ方を工夫し、視覚的に「リハ・スポーツ」を効果的に説明するのが望ましいとの意見があった。1月31日の締め切りまでに小川理事を中心に、パワポ資料を再構成する。

【報告事項】

1. リハビリテーションスポーツ学会合同コンGRESSにおけるポスター発表の件

議長より本件について別添え付録資料を示しながら説明に入った。木畑理事より、水中リラクゼーションを含む水中リハの発表は、幼児や子供のものが数例あったが、脳血管障害や神経難病罹患者の実践報告は無く、今後引き続き実践報告を中心とした発表をすることが望ましいと報告があった。

小川理事より、5つの障害者スポーツに係る学会が集結し行ったコンGRESSだったが、ポスター発表の多くは競技スポーツ関連のもので、主に身体能力や筋力の変化を表わしたものであった。このことから、SF-36の分析を行い心理面での変化に関する調査の意義をより重要に感じたとの報告があった。

2. リハビリテーションスポーツ学会投稿の件

議長より別添え付録資料・投稿誌を示しながら説明に入った。リハビリテーションスポーツ学会のオンライン投稿と共に、学会誌Vol.36 No.2に掲載されたとの報告があった。

3. 松戸市「デイサービス夢子」リハ・スポーツ教室実施の件

議長より別添え資料を示しながら説明に入った。平成29年11月より開催の「リハ・スポーツ教室」は7回を終了し、1月14日（土曜日）には宮地氏・木畑理事協力の元第1回目のプールを終えた。松戸市福祉中沢氏の見学があり、入水前後の参加者の表情の変化に感動したとの感想があった。今後、松戸モデルを構築すべく地域医療・行政・主催者であるデイサービス夢子との連携を深めていくとの報告があった。

4. 東京ホームタウン大学における登壇の件

議長より別添え資料を示しながら説明に入った。平成30年2月24日、東京ホームタウン大学においてリハ・スポーツ教室が介護予防の鍵になる「住民運営の通いの場」

の充実プログラムの一つとして発表を考えており、また、公益財団法人世田谷保健センターと連携協定を締結に伴い、世田谷区立総合福祉センターを拠点に、地域包括ケア、医療等と連携したリハ・スポーツを構築し、区内全域に拡げて行き、延いては「一般介護予防事業」で新たに創設した、世田谷区における地域リハビリテーション活動支援事業の仕組みづくりを「世田谷モデル」として説明発表したいと報告があった。

5. 東京都プロボノ1Day チャレンジと成果物（チラシ）の件

議長より別添え資料を示しながら説明に入った。長谷川医師のコメントを挿入した完成版の説明パンフを持ち、世田谷区の在宅医等長谷川医師より紹介のあった世田谷区の7名の医師に面会し、「リハ・スポーツ」の意義に関し理解を得て、次年度のリハ・スポーツ教室の参加者を募りたいとの報告があった。

以上をもって本日の議事を終了したので午後17時30分、議長は閉会を宣した。
上記議事の経過の要領およびその結果を証するためこの議事録を作成し、出席理事及び監事は記名押印する。

平成30年1月17日

一般社団法人輝水会

議長・理事長 手塚 由美 法人印

理事 三嶋 完治 印

同 木畑 実麻 印

同 小川 彰 印

監事 阿部 英雄 印